

『時事直言』 No.1714 2024年12月5日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

トランプ暴落必至！

本日の増田チャンネル(無料インターネットセミナー放送午後 6 時から)で述べているようにトランプ政権になってから「大暴落」が起きる可能性が高くなっている。

小冊子 Vol.145 の原稿の入稿が遅れているのは、日々いろいろな新事実が出てくる度に裏(真実)を確かめているので時間がかかっているからである。

今回の小冊子 Vol.145 の副題に「資産価値大混乱(大暴落)の駆け込み寺(日本)」があるが、この項を読む「何故トランプ政権下でニューヨークが大暴落になるか」が分かる。

第一次トランプ政権最後の年である 2020 年 3 月、コロナ災害による大暴落が起きた。



ニッケイ平均もニューヨークダウも 30%以上下げた。

暴落が起きるまでは丁度今日のように日米株価は最高値圏を維持していた。

トランプ政権には二つの大きなリスクがある。

その第一は財政破綻問題である。

バイデン政権は債務上限について議会の承認が得られず、問題は 2025 年の新政権後まで先送りされている。

政権発足と同時にトランプは \$35 trillion まで債務上限を上げないと政府機能停止の事態に陥る。

上下両院共和党が過半数を得たので予定通り債務上限は議会承認を得られるが、アメリカの財政は

毎年黒字になる可能性は皆無だから、債務上限が決まれば直ちに米国債の格付けは 2-3 段階下げられるだろう。

同時にドルの信頼が落ち、主要通貨に対するドルのバリューを示す DXY(ドルインデックス)は急落、市場金利の急騰は暴落の引き金になりかねない。

トランプは官僚のトップはすべてトランプシンパで固めたが、第一次トランプ政権時代のアンチトランプ、ディープステートのエージェントはことごとく排除する。

その数 45,000 人とも言われている。

ディープステートはキングメーカーとも言われ、いかなる大統領も逆らうことは出来ない存在であった。

トランプが言う「アメリカを変える」はディープステートを潰すことである。

さらにトランプは FRB(ユダヤ資本)のドル発行権を国家(政府)に移し、「トランプダラー」を発行するという。

リンカーンからケネディ大統領に至るまで通貨の発行権を国家に移行しようとした大統領はことごとく暗殺されている。

ケネディ大統領暗殺についてのウォーレン委員会(最高裁判長ウォーレンを中心に約 2 年に渡って綿密な調査を行った)の秘密文書は 2017 年 10 月(トランプ政権中)に公開が義務付けられていたの
でトランプは開示命令を出したが、CIA の強い要望でどうしても開示しなかった一部が残った。

バイデン政権下でも秘密の一部が開示されたがすべての開示は出来なかった。

トランプはロバート・ケネディ・ジュニア(トランプが保健省長官に指名)に必ずウォーレン報告書の最後の未公開部分を開示することを約束している。

CIA が国家安全保障上の重大問題を理由に拒んできた同報告書の秘密をトランプが暴くとなると CIA は困るのではないか。

「ディープステートを潰す」、「ドル発行権を政府に戻しトランプダラーを発行する」、「ケネディ暗殺の隠され続けて来た秘密を公開する」、と言ふトランプはどうなる。

私はトランプ暗殺、ニューヨーク市場大暴落の方に賭ける。

詳しくは「小冊子 Vol.145」を熟読して下さい。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。